沖縄県知事選 立候補表明マニフェスト

挑戦を笑わない、立ち上がる沖縄へ

不毛な対立を終わらせ、建設的な未来を選択する「新世代の提示」

不毛な争いを超えて、本来の政治の姿を県民の手に

立候補して見えた「選挙戦の不毛な現実」

SNSの煽り・レスバ合戦

候補者の粗探しや対立候補へのネガティブキャンペーンが横行。本来議論すべき政策や未来の姿が置き去りにされています。

「票集め」のための作業

共感や志ではなく、当選するための「その場しのぎの政策合戦」に。ポジティブな共感ではなく、ネガティブの投げつけ合いが目立ちます。

「票割れ・売名」という冷笑

誰かに唆された事実など一切ありません。「若者が挑む」こと自体を冷笑し、真摯な議論の土俵に上げる前に一蹴する体質が存在します。

政治本来の役割：「利害の調整」と「ルール創出」

- ✓ **安心できる暮らしのための合意形成：**
  政治の本質は、人々が安心して暮らせるよう多様な意見や利害を調整し、より良いルールを作ることです。
- ✓ **擦り合わせの議論と非難合戦は違う：**
  意見の違いを建設的に磨き合う議論は不可欠ですが、ネガティブの投げつけ合いは何も生み出しません。
- ✓ **未来への期待値を競う土俵へ：**
  不毛な争いを止め、純粋に「どの政策が沖縄の明日をワクワクさせるか」で勝負すべきです。

選ばれる「権利」と、果たすべき「責任と義務」

100%

県民の明日を創る責任

権利があるなら、相応の「義務」を全うする

選挙で選ばれ、政治活動や想いを形にする「ありがたい権利」を県民の皆様からいただけるなら、皆様を幸せにし「明日が来るのが楽しみに思える日常」を実現する明確な義務が伴います。

当選はゴールではなく、県民との約束を果たし続ける義務のスタート地点です。

政治をシンプルに：人として当たり前の「倫理観」

人として当たり前の姿勢を守り抜く

「人が嫌がることをしない」「人にしてもらって嬉しいことをする」「間違いを犯せば逃げず責任転嫁しない」「非を認め謝罪・反省し改善する」。人間として基本的な姿勢を常に磨き続けます。

政治の参加ハードルを下げる

政治を複雑で難解な駆け引きから、誰にとっても「シンプルで真っ直ぐなもの」へと戻します。さすれば若者や新しい挑戦者が参入しやすくなり、より良い議論と世の中の実現につながります。

PART 2 : NEW CO-CREATION

「対立」から「共創」へ

「大人 vs 若者」の不毛な二項対立ではなく、世代を超えて「挑戦を讃え合える社会」を共に創る

予算0円で変える「社会の空気とエコシステム」

1. 失敗を検証・尊重する場づくり

挑戦してコケた若者を排除せず、対話の場へ招待。「やっぱりな」と冷笑するのではなく、失敗から学びを得てオープンに称える文化を作ります。

2. 失敗を資産化するDB構築

挑戦した経験者をデータベース登録し、次の挑戦者の貴重なアドバイザーへ。「失敗＝脱落」ではなく「貴重な経験資産」として再活用します。

3. 挑戦者を支えた大人の表彰

若者や挑戦者の背中を押し、支えた側を積極的に称える仕組み。誰もが挑戦を共に喜び、応援したくなるポジティブなインセンティブを作ります。

「やり方」を変えてみませんか？試してみませんか？

今までのやり方で満足できていないのなら

「正しい方向を向いているか」「正しい熱量か」「正しい方法か」をしっかりと議論し、もしそうでないなら恐れずにやり方を変えてみる時期に来ています。

思いの外良い結果がついてくるはずです。自らがリスクを取り、一番大きな舞台で立つ（事実）で見せていきます。

政治のあり方のアップデート（私たちの立場）

これまでの政治アプローチ	これからの新しいアプローチ
当選目的の不毛なネガティブキャンペーン	**真の利害調整と「県民の明日を創るルール作り」に集中**
若者を単なる「支援対象」として語る	**世代を超えた「共創パートナー」として共に舞台に立つ**
挑戦者への冷笑（「やっぱりな」という風潮）	**失敗を経験資産に変え、再挑戦を称えるエコシステム**
複雑・難解で遠い存在の政治	**人として当たり前の倫理に基づく、シンプルで身近な政治**

政策の実装基準：義務の強制ではなく「機会」の創出

- **義務と感謝の分離：** 義務や感謝を強制すると人は逃げる。すべて「可視化」と「顕彰」に変換し、自主性を促す。
- **熱量と方向性の再確認：** 「これまでの慣習」に縛られず、正しく熱量を注げる新しいやり方を積極的に試す。
- **自ら矢面に立つ姿勢：** 言葉やスローガンだけでなく、30代で知事選という場所に挑む「事実」そのもので意思を示す。

不毛な対立を超えて：沖縄刷新のロードマップ

PHASE 1

不毛な対立の打破

ネガキャンを拒否し、誠実な論点と「0円の構造改革」を提示。

PHASE 2

本音の対話と調和

世代を超えた県民・事業者と「現実の課題」を擦り合わせ。

PHASE 3

挑戦エコシステム

失敗を恐れず再挑戦できる仕組みとマニフェストの実装。

PHASE 4

新しい沖縄の始動

誰もが明日を楽しみにできる、開かれた県政のスタート。

メッセージ

政治はもっとシンプルでいい。
人が嫌がることをせず、非を認め、真摯に向き合う。
今までのやり方でダメなら、新しいやり方を試してみませんか？

— 沖縄県知事選 立候補決意表明より

共に、新しい沖縄の扉を開きましょう。

不毛な争いを終わらせ、県民の皆様の明日を明るく照らす政治を、今ここから。

挑戦を笑わない、立ち上がる沖縄へ | 沖縄県知事選 立候補表明プレゼンテーション